
犬と猫とお稲荷様あ 一予告編一

NY

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

犬と猫とお稲荷様あ ―予告編―

【Nコード】

N4637S

【作者名】

NY

【あらすじ】

犬と猫とお稲荷さんによる

たまにドタバタ、たまにほのぼのな物語です

(前書き)

このシリーズの原作は『アットノベルズ』のサイトで
『狐と虎と女神様』をやっています(^| ^)

ー犬と猫、両者は同盟を結んでいた
平和な国、争いのない国、治安がよい国・・・
そんなとても良い生活が続いていた・・・
しかし、平和は続かなかった
平和を嫌う『魔軍』が攻め込んできたのだ
平和のため、武器を捨てていたこの国はあっという間に滅んだ・・・
だが彼らは諦めなかった
魔軍から逃れ、国を捨てる羽目になった犬と猫は人間達がすむ世界
へ行ったのであった・・・
それから千年後・・・

ープロローグー

・・・ケモノ街 表通り

「腹が減ったの・・・」グウ・・・
一人の少女がノタノタと歩いていて
「お金は無いからのう・・・しょうがない、アイツを頼るしかないさ
そうじゃ」

少女はまた歩きだした

・・・ケモノ街 街外

少女が来たのは一軒の家、普通の家だ

「おい『クリス』うー！居るのじゃろー、返事しないと燃やすぞ
ー」ボウ

少女は青い炎を掌から出し、家にぶつけた

クリス「バカ野郎！喋ってると同時に燃やす奴いるか！？」消火器で火消してる

18歳ぐらいの少年が出てきた、服は博士のようだ

「おお、居たのか？なら返事をせぬか」

クリス「返事の前に消火だよ！」

「お主も大変じゃな」仁王立ち

まるで人事のようだ

(後書き)

お気に召されましたらコメントorメッセージください(^-^)
続きありますよー < >

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4637s/>

犬と猫とお稲荷様あ ー予告編ー

2011年4月14日20時13分発行